



1月号  
〔No.4 1 2〕

# 二小だより

横浜市立港南台第二小学校 横浜市港南区港南台5-4-1  
電話 045-831-7676 FAX 045-833-9742

## 育てたい力

校長 山手 英樹

あけましておめでとうございます。新年の幕開けにふさわしい晴れた穏やかな元旦を迎えましたが、皆様はいかがお迎えでしょうか。

2020年に新学習指導要領が完全実施されます。子どもたちにどのような教育を行い、どのような力を身に付けさせていくか、教育界では議論されています。グローバル化の進展や技術の進歩は、社会に多様性をもたらし、私たちの生活も質的に大きく変化しつつあります。子どもたちが成人する頃には、職業をはじめ世の中はどのようなのでしょうか？オックスフォード大学のオズボーン氏は「今後10～20年程度で半数近くの仕事が自動化される可能性が高い」とも予測しています。

これからの時代を生きる子どもたちには、多様な人々と協働し、様々な社会的な変化を乗り越え、未来社会を切り開いていくための力（資質・能力）が求められています。

新学習指導要領では、資質・能力を次のように整理しています。

- ① 何を理解しているか、何ができるか（生きて働く「知識及び技能」の習得）
- ② 理解していることやできることをどう使うか（どんな状況にも対応できる「思考力判断力、表現力等」の育成）
- ③ どのように社会や世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」の涵養）

本校では今年度の具体目標の一つを次のようにしています。

子ども一人ひとりを大切にしながら、感動のある学校を目指します。

～地域の教材を生かした問題解決学習を通してコミュニケーション能力を高める～

これを受けて本校の今年度の重点的な研究を「総合的な学習の時間・生活科」にして上記の資質・能力を培っていこうと考えています。具体的には、目指す子どもの姿を「まちや人とのかかわりから、生きる喜びを実感する第二小の子どもたち」とし、研究授業を通して子どもたちの様子について語り合い、研鑽しています。「学び合い認め合うことの楽しさ」を推し進めると共に「自分たちのまちや地域を知る」、「地域の人々と関わる」「地域のよさや自然に触れる」ことで、子ども一人ひとりが自分の思いや願いをもって問題解決学習ができることを願っているのです。

そして「総合的な学習の時間・生活科」のまとめの発表の場が、2月16日(土)の「二小っ子フェスティバル」となります。多くの皆様にご参観いただけると共に、子どもたちの活動の様子や上記のような「育てたい力」について、ぜひともご意見をいただければと願っております。

本年も私たち教職員一同、子どもたちの力を高め、明るく楽しい学校となるよう努力

して参ります。これからも本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。